

講演会

小野有五 (北海道大学名誉教授; 行動する市民科学者の会・北海道)

泊原発

再稼働してはいけない

8つの理由

行動する市民科学者の会・北海道 (ハカセ)

Hokkaido Active Citizen's Association of Science (HACASE)

2017年5月18日 (木)

19:00~20:30 (開場18:30)

会場: 北海道クリスチャンセンター (2F) ホール

札幌市北区北7条西6丁目 (011-736-3388)

(申込み不要です)

参加無料
資料代300円

去る3月10日の安全審査会合で、原子力規制委員会は、「積丹半島の地盤は安定しており、地震性隆起はありえない」としてきた北海道電力の主張をくつがえし、泊原発に近い海底活断層を認定、地震性隆起を想定すべきとの異例の主張を自ら行いました。

これは、昨年来、「行動する市民科学者の会・北海道」が、2回にわたって原子力規制庁に申し入れを行ってきた意見を、ほぼ踏襲した内容となっています。

北電の主張には、根本的な誤りがあります。また、北海道の電力供給の余裕度は日本一であり、2019年、石狩新港のLNG発電プラントが稼働を始めれば、余裕度はダントツに高くなります。泊原発は、北海道にとって、もはや、まったく不要なのです。

当日は、カラーのわかりやすいパンフレットをプレゼント。

どうぞ、お友だちをさそって、おいでください。

主催: 「行動する市民科学者の会・北海道」

Tel: 090-3110-5930 (小野)

yugo55glacier@gmail.com

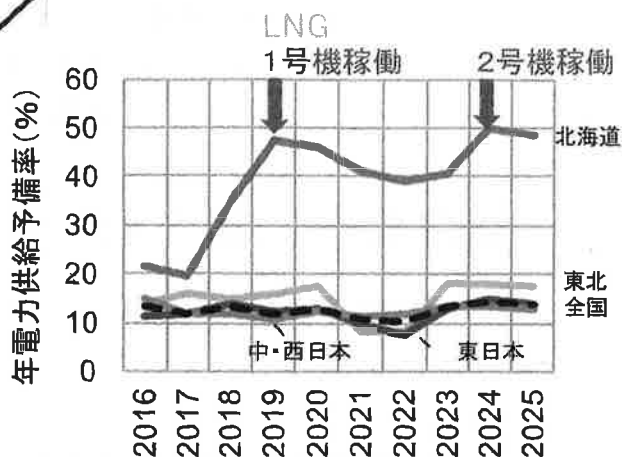


図1 2016~2025年の電力供給予備率の見通し

この講演会は、高木仁三郎市民科学基金の助成を受けて、開催するものです。